

習志野フェニックス優勝

習志野市少年野球新人大会

第28回習志野市少年野球新人大会が3月23日から31日まで、第一カッター球場で開かれた。

大会日程初日は降雨のため開会式だけが行われたが、選手を代表して向山フアイトースの吉垣陽翔主将が「プレーできることに感謝し、がんばります」と元気に宣誓した。

3日間にわたるトーナメント戦の結果、習志野フェニックスが優勝を飾った。フェニックスは6月の全日本学童軟式野球千葉県予選大会に出場する。

フェニックスのこの大会での優勝は、コロナ禍で中止となった第24回大会を挟んで5年ぶり。通算4回目。

大会結果は次の通り。
 ▼1回戦



優勝の習志野フェニックス



準優勝のならしのフレンズ

鷺沼マリ	6-4	大東あづま
ならしのフレンズ	10-3	谷津サザ
習志野ベイ	8-3	藤崎シー
津田沼少年野球団	13-8	美花レジー
鷺沼マリ	6-5	向山フアイトース
ならしのフレンズ	5-4	大久保フレンズ
習志野フェニックス	10-0	習志野ベイ
津田沼少年野球団	12-8	袖ヶ浦少年野球団
準決勝戦の第1試合は、ともに2回戦を逆転サヨナラで勝ち上がったならしのフレンズと鷺沼マリ		

3回裏には永田の適時打で逆転。4回表、フレンズは2点を加えて逆転するが、その回裏、鷺沼は再び逆転。しかし、フレンズも5回表に同点とする。同点で迎えた最終回、フレンズは松元優の安打、池亀の適時打などで3点。一方、鷺沼は1点を返した後、川野、黒澤育の安打などで同点とし、試合は特別延長戦に突入した。再延長まで行われたが、フレンズが僅差で勝利した。

準決勝戦の第2試合は、再逆転の末、2回戦に勝利した津田沼少年野球団と、シードチームで唯一勝ち上がった習志野フェニックスとの顔合わせとなった。フェニックスは2回、4回にスクイズで2点。津田沼は5回表、四球、盗塁の藤井		
---	--	--



第3位の鷺沼マリーンズ



第3位の津田沼少年野球団

決戦は習志野フェニックスとならしのフレンズとの対戦となった。1回表、

フェニックスは四球の1番宮崎が2番東海林の右越三塁打でかえり先制。3番仲山の内野安打で東海林もかえる。4番池原の当たりはよかつたが、フレンズの三塁手・後藤の好送球で一死。5番渡邊の内野ゴロはエラーを呼び、三塁から仲山がかえり3点目。フェニックスは、さらに6番寺田のセーフティーバント、7番森田の死球で満塁とし、8番上敵が左越本塁打を放ちこの一回一挙7点を挙げ

2回表には、先頭の笹原が右前安打。続く渡邊は内野ゴロだが、打球が笹原に当たり、守備妨害で一死。渡邊は連続盗塁で三塁に達し、寺田の内野安打でかえり1点。寺田は悪投球、盗塁で三塁、森田は四球で走者一、三塁に、上敵のバントスクイズで二者がかえり3点を追加する。一方、フレンズは1回表、1番羽鳥が左前安打、2番後藤が四球で走者一、二塁とするが無得点。2回表には途中から入った7番大岩が打撃妨害で出塁し、8番佐藤が内野安打で走者

▼決勝戦

習志野フェニックス	7 3 2	12
ならしのフレンズ	0 0 2	2

▼準決勝戦

ならしのフレンズ	0 1 0 2 1 3 3 2	12
鷺沼マリーンズ	0 1 1 2 0 3 3 1	11
津田沼少年野球団	0 0 0 0 1 1	2
習志野フェニックス	0 1 0 1 3 3	5

一、二塁とするが得点に結びつかない。3回表、フェニックスは東海林の左翼線本塁打、仲山の左越三塁打などで2点を追加。フレンズは3回裏、3番池亀の右前安打、4番岩沢の左中間本塁打で2点を返すが、後続なく、試合はここまでとなった。



男子団体戦優勝の一中



女子団体戦優勝の五中

【男子個人】

①米田諒花・大野瑠花(四中) ②渡辺笑那・長嶺杏(五中) ③八木橋ひなた・小林陽菜乃(四中) ④高橋明日香・若目田心海(四中)

令和6年度習志野市中学生ソフトテニス春季大会が3月24日と4月14日、秋津テニスコートで開かれた。団体戦は男子は一中、女子は五中が優勝した。男子はシードの一中と五中が県大会出場。女子五中は連覇も果たした。この優勝は五中生みんなで勝ち取ったものだと思えます。最後の総体で悔いのない結果を出せるように残りの半年間、がんばっていきたくて話した。

【女子個人】

①中A 2-1 二中A ②準決勝戦 ③準決勝戦 ④準決勝戦

【男子団体】

①五中A ②四中A ③三中A ④六中A

大会結果は次の通り。